

「トレーナーの夢に近づける」

僕は1月に私立高校を受験し、合格しました。

僕の将来の夢は、スポーツトレーナーになることです。小学生のときから決めていました。僕は小学生のときからバレーボールをやっていて、テレビなどで試合を見ても、選手ではなく、トレーナーやコーチの方々を自然と見ていました。選手たちのモチベーションをととても高く上げている姿に、自分もスタッフとして選手を支え、持ち上げていきたいと思いました。

僕は高校の素晴らしい設備を見て、ここなら自分の夢に近づけると思いました。奨学生として進学できるのは、応援してくださった周りの方々、家族、そして指導をしてくださった先生方の支えがあったからだと思っています。だから、その方々に感謝をして、これから頑張ります。

僕は、3年間あるいは小学校からの9年間一緒に生活してきた菊鹿中学校3年生59人が、一人残らず第一志望校に合格できるように、残りわずかな時間を大切にして、気持ち良く卒業できるようにしていきます。

菊鹿中学校、本当にありがとう！